

第 11 回 鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会 議事録（概要）

日時 平成 25 年 3 月 5 日（水）17 時 00 分～19 時 00 分

場所 鎌倉市役所 本庁舎 402 会議室

出席 深野会長、大道委員、牧田委員、橋詰委員、保坂委員、奴田委員、波多辺委員、梅澤委員
＜事務局＞

環境部 石井部長、松永次長、小池次長、宮村次長

資源循環課 谷川担当課長、小澤担当課長、瀬谷課長補佐
佐藤担当係長、安倍主事、片桐職員

環境施設課 小柳出課長

環境センター 川村担当課長、遠藤担当課長、奥田担当係長

ごみ減量・資源化推進担当 松井担当主査

傍聴者 6 名

報告事項 1 戸別収集モデル事業検証結果（コスト）について

- 議題 1 平成 25 年から 27 年度までの第 2 次鎌倉市一般廃棄物処理基本計画ごみ処理基本計画（中間見直し）の再構築について（答申）（案）
- 2 家庭系ごみの戸別収集の導入について、家庭系ごみの有料化について及び事業系ごみ処理手数料の改定等について（答申）（案）

報告事項 1 戸別収集モデル事業検証結果（コスト）について

波多辺委員：資料 1 の枠内、戸別収集・有料化に伴う減量による相乗効果の内訳を教えてください。

谷川担当課長：戸別収集・有料化により、燃やすごみと燃えないごみが減量し、処理費が軽減することを算出したものです。平成 23 年度の処理費用の単価を使用し、燃やすごみはトン当たり 31,500 円で削減量は 3,475 トン、燃えないごみはトン当たり 68,100 円で削減量 466 トンとしました。

深野会長：枠内の説明をもう一度お願いできますか。

谷川担当課長：311,307 千円は有料化実施にともなう歳入と歳出になっています。モデル事業での検証結果を踏まえ、20 リットル袋の使用を想定して世帯数を掛け合わせて算出しています。小規模事業所についてもこれまでの議論を踏まえた金額で算出しています。また、指定袋の作成費や販売等に係る管理費といった歳出を差し引くとともに、先ほどご説明した戸別収集・有料化にともなう減量による相乗効果を合わせて 452,518 千円の歳入等を見込んでいます。

牧田委員：歳入の方も減量ができた場合の数字ですか。

瀬谷課長補佐：歳入については、70,000 世帯が 20 リットル袋を使用、1 袋 40 円とし、燃やすごみの場合は 1 世帯当たり 1 回 40 円が週 2 回、燃えないごみの場合は隔週 1 回として算出しました。小規模事業者は 2,000 社が登録すると見込み算出しています。歳出については指定袋の作成費及び管理費を見込んでいます。

深野会長：コストの算出は考え方が色々あり、難しいものです。ごみが減量すると、歳入も減りますが、それだけ処理費用もかからなくなります。相乗効果について、今のご説明でよろしいでしょうか。

全 員：はい。

議題 1 平成 25 年から 27 年度までの第 2 次鎌倉市一般廃棄物処理基本計画ごみ処理基本計画（中間見直し）の再構築について（答申）（案）

奴田委員：自治会のほとんどの人がごみの有料化について理解していなかったようです。資料 2－3 の 25 ページに記載してあることを、市民にもっとわかってもらうような啓発が必要だと思います。市民がその気になるような啓発をもっと努めてもらいたいです。啓発を具体化していかないと、直前になって有料化を知る人も出てくると思います。自治会では有料化の勉強会もしようと思います。

深野会長：有料化については十分な周知をして理解していただくことが必要と思います。答申の後、戸別収集・有料化について丁寧に市民周知していただきたいと思います。

小池次長：28 ページに、市民の皆様にも周知を徹底するという旨を記載します。

大道委員：26 ページのその他の啓発の学校等におけるという部分は、子どもの目線に沿ったわかりやすいものであることが重要と思います。

谷川担当課長：現在でも保育園などでは紙芝居を使うなど、興味を持ってもらうよう実施しているところですが、わかりやすく親しみの持てる旨を記載します。

梅澤委員：鎌倉市自治町内会総連合会から審議会へ参加しておりますが、各家庭への印刷物を作成する際は、有料化がいつから始まるのかなど、要点を整理して、一目でわかりやすいものをお願いします。

谷川担当課長：どなたでも理解していただけるようなわかりやすい印刷物の作成を努めてまいります。

牧田委員：26 ページでは、滞在者についてもそれぞれが役割を持ってごみの減量に臨むということですが、滞在者は観光客も想定しているのですか。

小池次長：28 ページに記載しています。観光旅行者や、通勤又は通学する者を含んでいます。

牧田委員：滞在者が、通勤などの固定的な方と観光客などの流動性のある方と一緒にいるので、わかりづらいように感じます。まとめて考えるのは難しいのではないかと思います。特に観光客に対してどうするかが課題になります。

大道委員：少なくとも市民以外を滞在者というのであれば、観光の案内に入れるなど、滞在者へ市の取り組みを理解するをお願いをすることや、市の取り組みに協力するということを盛り込むことができると思います。

深野会長：滞在者も観光客と通勤では別に分けて働きかける必要があるというご意見と、行政が滞在者に対して啓発をする表現があった方がいいというご意見です。

小池次長：滞在者の部分については、観光客と通勤又は通学する者の役割をそれぞれ分けて記載します。行政として滞在者に対する働きかけを追加します。

波多辺委員：29 ページのスケジュールをみると、26 年度に実施ということですが、時間も迫ってきていますので、市民の方へ今後の流れを何回もお知らせしていく必要があると思います。答申が出た後どのようなスケジュールでいるのか伺いたいです。

小池次長：答申をいただきましたら、パブリックコメントを募集する予定です。その後、行政計画として位置付け、進めていきたいと思っています。

波多辺委員：必要な情報があれば、事業所向けの会報にも掲載できますので、お声掛けください。

深野会長：市民周知について、事業所周知について、各家庭にわかりやすい印刷物、学校等では子どもの目線で親しみやすく、滞在者へは固定的な滞在者と流動性のある滞在者に対して限定的に記載できるものがあれば記載する。スケジュールについてなど、何点かご意見いただきましたので、今の内容を私と事務局で調整した内容を委員の皆様にご確認いただき、その結果を 3 月中に答申することによってよいでしょうか。

全 員：はい。

議題 2 家庭系ごみの戸別収集の導入について、家庭系ごみの有料化について及び事業系ごみ処理手数料の改定等について（答申）（案）

保坂委員：有料化する分別区分についてですが、燃やすごみを有料化にする理由として、経済的インセンティブという記載はありますが、焼却ごみを減らすことが課題であるということも明確に記載した方がいいのではないかと思います。容器包装プラスチックは有料化しない方が分別の徹底が進むという記載がありますが、燃えないごみについては理由が記載されていないので、そろえた方がよいと思います。

深野会長：焼却ごみを減らすことが課題であり、記載すべきというご意見です。

谷川担当課長：前段で記載しておりますが、この中でもあらためて記載します。

牧田委員：2ページで1万トンの削減が喫緊の課題であると記載していますが、1万トン達成できなかったときのことをわかっていなければいけないと思います。燃やすごみがあふれてしまった場合はごみ処理を他の自治体にお願いせざるを得ないという記載をした方が、市民に分かりやすいと思います。

波多辺委員：他の自治体にゴミ処理をお願いした場合は、費用が掛かりますので、その点を入れて記載に加えてもいいと思います。

深野会長：1万トンを削減できないと燃やすごみがあふれて、他の自治体に処理をお願いしたときはゴミ処理コストがさらにかかると記載してはどうかというご意見でした。

保坂委員：できない場合があることを記載するべきと考えます。記載した方が喫緊の課題であることがわかりやすいと思います。

大道委員：他の自治体に処理を頼んだり、お金を掛ければよいということではなく、自分たちに降りかかってくるという意味になると思います。

深野会長：いずれにしても自分たちで背負わなければなりません、ということです。

橋詰委員：そのような危機感が伝わるように記載すべきと考えます。

牧田委員：何らかの対策をしなくてはいけないということは示していく必要があります。

小池次長：喫緊の課題だということを市民へ示すための記述を検討したいと思います。

深野会長：鎌倉市のように戸別収集、有料化、事業系ごみ処理手数料の改定の3点を同時に審議するということはあまりない例だと思います。それは反対に、非常に大きな課題を背負っていることを意味していると思います。実施時期については同一として、様々な意見があることは踏まえながら、対応していかなくてはなりません。

波多辺委員：ごみ処理施設の検討状況を記載しておいた方がよいと思います。

深野会頭：ごみ処理基本計画の再構築にも記載がありますので、こちらにも少し記述があってもよいと考えます。記載するとすれば、2ページに新炉の検討も始まっている旨を記載するようになるのでしょうか。

小池次長：先ほどの議論と合わせて記載を検討します。

奴田委員：現在設置しているクリーンステーションのボックス型ネットの使い道はどうなりますか。

谷川担当課長：戸別収集は全品目ではないのでクリーンステーションは残りますが、市の方で引き取ることが検討しています。

深野会長：2ページの部分については事務局と調整し、訂正したものを委員の皆様へ配付、確認していただき、市長に答申するというところでよいでしょうか。

全 員：はい。

以上